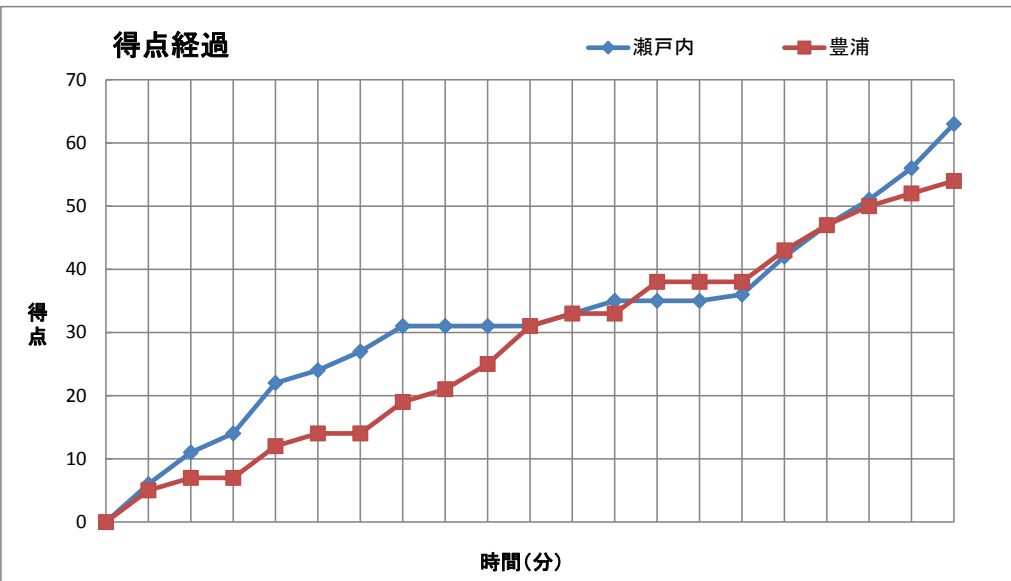




中国高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

男子		令和2年2月9日 13:30 開始															
決勝		佐伯区スポーツセンター D															
◎ 瀬戸内 (広島県) 63		<table border="1"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>7</td><td>2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>5</td><td>3rd</td><td>7</td></tr> <tr><td>27</td><td>4th</td><td>16</td></tr> </table>		24	1st	14	7	2nd	17	5	3rd	7	27	4th	16	54 豊浦 (山口県)	
24	1st	14															
7	2nd	17															
5	3rd	7															
27	4th	16															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
8	丸賀 翔太	-	-	-	-	-	* 4	西田 颯稀	4	0	2	0	4				
12	松本 雷太郎	-	-	-	-	-	* 5	江 藤 晃	0	0	0	0	5				
* 13	杉山 寛隼	3	0	0	3	1	* 6	大迫 亮太郎	29	4	8	1	0				
* 14	林 田 旭	12	3	1	1	0	7	森田 陽稀	1	0	0	1	0				
* 15	畑 本 翔	8	0	4	0	3	* 8	藤井 桜弥	7	0	3	1	1				
18	讃井 幸伸	0	0	0	0	0	* 9	羽嶋 大智	4	0	2	0	0				
19	中本 丈偉	-	-	-	-	-	10	磯中 恒希	9	1	2	2	1				
20	山村 空都	-	-	-	-	-	11	竹中 健真	-	-	-	-	-				
24	松下 勇作	-	-	-	-	-	12	前田 栞大	0	0	0	0	1				
27	東 瑛心	-	-	-	-	-	13	大川 優人	0	0	0	0	0				
* 29	河本 昂也	13	0	5	3	1	14	町田 一磨	0	0	0	0	0				
30	平山 憧磨	18	4	3	0	1	15	米加田 一真	-	-	-	-	-				
35	上野 太暉	5	0	2	1	1	16	岡崎 優悟	-	-	-	-	-				
* 49	林 湧也	4	0	2	0	3	17	長谷川 幸夫	-	-	-	-	-				
55	植野 滉貴	-	-	-	-	-	18	首藤 謙心	-	-	-	-	-				
コーチ	川西 英昭					0	コーチ	枝折 康孝					0				
Aコーチ	島 正則						Aコーチ	八色 健太									
合計		63	7	13	7	6	合計		54	5	17	5	12				
主審: 田中 真 副審: 濱本 淳子 副審: 中村 達哉																	



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	18:00	:	28:56	39:37	:	:	:	:
TeamB	19:38	:	37:36	39:04	:	:	:	:

〔戦評〕
 1Q:スターティングメンバー広島県 瀬戸内高等学校#13、14、15、30、49。山口県 豊浦高等学校が#4、5、6、8、9。瀬戸内のディフェンスはマンツーマン、豊浦はゾーンでスタート。まず、主導権を握ったのは瀬戸内。堅いディフェンスから速い展開に持ち込むと、思い切り良くシュートを放つ。#14#30がそれぞれ3本の3Pを決めるなど、一気に流れを掴んだ。一方、豊浦は瀬戸内の激しいディフェンスに苦しめられる。#6が12得点と孤軍奮闘するも24対14、瀬戸内リードで第1Q終了。
 2Q:豊浦はディフェンスを修正して、瀬戸内を9分間ノーゴールに押さえ込む。瀬戸内のシュートが落ち始めると豊浦が玉際に強さをみせ、点差は徐々に縮まっていく。第1Qで得点に偏りのあった豊浦だが、#10のドライブや3P、#8がしぶとくゴール下を決め、ピリオドスコア7対17で圧倒し、31対31の同点としたところで前半終了。
 3Q:両チーム共に攻守両面で運動量が増し、ゲームのテンポを上げていく一方で、オフェンスが淡白になりミスが続く我慢のピリオドとなる。36対38、豊浦リードで第3Q終了。
 4Q:立ち上がりから瀬戸内はハイポストを基点に、#29の個人技や#15との合わせから確実に得点を重ねて、逆転に成功する。豊浦は攻め手を欠く中で#6がしぶとく得点し、なんとか喰らい付く。瀬戸内はリードを奪うと第1Qのような積極的なアウトサイドシュートを放ち始める。シュートは落ちるも何度もオフェンスリバウンドを奪取し、攻撃の手を緩めずそのまま逃げ切った。63対54で瀬戸内は悲願の初優勝となった。両チーム最後の最後まで死力を尽くしたゲームであった。

戦評: 横田学 記録: